

令和7年9月29日

市政記者 各位

経済観光文化局観光コンベンション部観光産業課

10/2～3 開催！

アジア最大規模のデジタルノマドサミットを開催します！

AIなど高度なデジタルスキルを活かし、定住地を持たず世界中を旅しながらリモートワークで働く「デジタルノマド」の人口は世界中で増加し続け、市場規模は120兆円にも上がるとされています。そのような背景のもと、2023年に全国の自治体初のデジタルノマド誘致『Colive Fukuoka（コリブ フクオカ）』をスタートし、10月の1カ月間にサミット、ワークショップや文化体験などを実施しています。今年も30以上の国・地域から400名以上の起業家、投資家やリモートワーカーなどが参加予定であり、アジア最大規模のイベントとして注目を集めています。

10月2日・3日に世界中のデジタルノマドが集う国際会議（Colive Fukuoka Summit）を開催いたします。ぜひ、ご取材にお越しください。



- ◆名称：「Colive Fukuoka Summit（コリブ フクオカ サミット）」
- ◆日程：令和7年10月2日（木） 10:00～17:30、3日（金） 10:00～17:30（両日 9:15 開場）
- ◆場所：住吉神社能楽殿（博多区住吉 3-1-51）
- ◆主催：福岡市
- ◆内容：以下2日のスケジュール(当日変更の場合あり)。3日の内容は個別にお問い合わせください。
 - 10:00 歓迎パフォーマンス
 - 10:15 福岡市挨拶
 - 10:20 集合写真の撮影 ※上部写真のようなイメージです
 - 10:30 Colive Fukuoka 運営代表者挨拶
 - 10:45 うきはの宝(株)「75歳以上の女性が活躍できる社会をつくる」プレゼンテーション
 - 14:00 ブルガリアで世界最大(800人参加)のノマドフェスを運営するホルガー氏のスピーチ
 - 14:25～17:30 その他のゲストスピーカーによる各種プレゼンテーション（終了 17:30）

※取材にお越しいただける場合、機材の設置場所等を調整しますので、事前に下記までご連絡をお願いいたします。なお、事前連絡の無かった場合も、当日取材は可能です。
※当日は、基本的に全編英語での進行となりますが、翻訳機器の提供の他、参加者や登壇者への取材時には、運営側で通訳対応を行います。



イベントページ

＜お問い合わせ先＞ 経済観光文化局 観光コンベンション部 観光産業課 原口、松尾
電話：092-711-4349（内線 2568）



Colive Fukuoka 2025 概要

「Colive Fukuoka 2025（コリブ フクオカ 2025）」は、起業家や投資家、企業に属するリモートワーカーなどが福岡に滞在し、地域と関わりながらライフスタイルや働き方を模索する滞在型プログラムです。

2023年から始まり、2024年には45カ国から436人が参加、推定1.1億円以上の経済波及効果を生みました。

2024年には日本政府による「デジタルノマドビザ」の導入もあり、観光を超えた人材・起業誘致の文脈でも注目を集めています。福岡市は全国の自治体に先駆けてデジタルノマドを受け入れてきた都市であり、3回目となる今回は、より実践的で持続可能な仕組みづくりを目指します。

10月のプログラム期間中には、カンファレンスや「RAMEN TECH（スタートアップ）」のほか、地域のアートや文化、自然を体験できる多様なプログラムを展開。街全体を舞台に、訪れた人たちにとって福岡が“次の拠点”に選ばれるような、学びと出会いを提供します。

「RAMEN TECH」や地域企業と連携し、10日間で約100のグローバルプログラムを展開

10月1日～3日

「Colive Fukuoka Summit」を住吉神社内の「能楽殿」で開催。日本独自の「生きがい（Ikigai）」をテーマに、新時代の働き方やライフスタイルを共創します。

10月4日～5日

市内からフェリーで約10分の能古島を舞台に、音楽やアートを通じた交流を創出する「Synapse(シナプス) Festival」を開催。去年は人口約600人の島に300名超が訪れました。

10月6日～9日

「RAMEN TECH」でノマド起業家が事業ピッチやブース出展を行い国内外の起業家に交流機会を提供する他、コワーキング施設ツアーや屋台巡りなども実施予定。

10月10日

メインウィークのクロージングとして『ユダヤ人大富豪の教え』シリーズをはじめ、世界で累計700万部を超えるベストセラー作家である本田健氏が講演を行います。

※1～10日を含む1か月間のプログラムとして、10月末まで、海外ノマドたちが福岡に滞在しリモートワークや地域との交流を行います。



昨年サミットで話すノマド起業家 能古島でノマド達がビーチヨガ



RAMEN TECHでノマドピッチ



コワーキングで作業するノマド

【デジタルノマドとは？ 世界と日本の現状】

出入国在留管理庁は2024年4月、海外企業に勤めるIT・デジタル活用人材が日本に滞在しやすくなる資格「デジタルノマドビザ」の運用を開始しました。海外で増えている**場所にとらわれずに仕事をする「デジタルノマド」**の受け入れ体制整備の一環です。日本を訪れ、テレワークで働きたい外国人の需要を取り込む狙いで、政府もインバウンド市場拡大施策の新たな柱のひとつとして掲げています。

【世界のデジタルノマド市場の現状】

デジタルノマドとは、インターネットを活用して場所にとらわれずに仕事をする人々のことを指します。オフィスや特定の地域に縛られず、世界中のどこからでもリモートワークをする新しい働き方が、ノマド（遊牧民）のような自由なライフスタイルであることから、「デジタルノマド」と呼ばれています。

デジタルノマド市場は急速に拡大しています。現在世界で4,000万人とされるデジタルノマド人口は、2035年には10億人まで増えると予測されており、パンデミック後のリモートワークの普及やテクノロジーの進化が、市場拡大の要因に挙げられます。デジタルノマドに人気のバリ、チェンマイ、リスボンをはじめ、世界各地でデジタルノマド向けのコワーキングスペース、短期賃貸型の宿泊施設、専用ビザなどのサービスが整備されています。2025年6月、**ブルガリア郊外にある人口8500人の村・バンスコーで開催されたデジタルノマドの祭典には約800名が参加**。Colive Fukuoka Summit では、その運営代表者も講演を行います。



2024年5月にフィリピンで開催された「Asian Nomad Alliance Summit(ANAS)」



世界最大級(800人)のデジタルノマドフェスブルガリアの「Bansko Nomad Fest 2025」



2024年8月には台湾初開催のノマドカンファレンスに招待された

【日本のデジタルノマド市場の現状】

日本のデジタルノマド市場は、外国人が月単位で滞在できる宿の不足やビザの使いにくさなどが原因で、世界と比較すると発展途上です。しかし、一部の地方自治体や企業では、**地方創生や高度人材の採用などの観点から、デジタルノマドを誘致する取り組みを進めています**。デジタルノマドには、起業家や投資家、エンジニアなどの高度人材が多く、旅先の地域や企業を活性化するスキルを有しているためです。実際に、九州・アジアの交通の要で外国人が訪れやすく、スタートアップ企業の活動も盛んな**福岡市は、全国に先駆けてデジタルノマドがもたらす経済効果に注目**。昨年10月1日より31日までの1カ月間に、デジタルノマドを福岡市に誘致する「Colive Fukuoka 2024（コリブ フクオカ 2024）」を開催しました。



海沿いのシェアオフィスで働くデジタルノマド



高島福岡市長と世界各国のデジタルノマド



観光名物「屋形船」を楽しむデジタルノマド

問い合わせ先：株式会社遊行 広報担当

アドレス：pr@yugyo.work 電話番号：080-9038-4869